

第15回市民フォーラム「介護保険を考える」

社会福祉法人 徳心会

〒198-0001 東京都青梅市成木2丁目44番地

助成事業の概要

平成25年11月16日（土）13:30～16:30 第15回市民フォーラム「介護保険を考える」を開催した。（来場者数169名）第1部は、淑徳大学コミュニティ政策学部教授の鏡諭氏よりレジュメを元に60分間の講演にて、介護保険の現状や今後の介護保険改正の動向などを解説した。休憩時間中には、あゆみえん職員による腰痛予防体操を、来場者の方々にも参加して頂き実施した。

第2部は、淑徳大学コミュニティ政策学部教授の鏡諭氏、青梅市健康福祉部高齢介護課課長の武藤裕代氏、青梅市地域包括支援センターすえひろセンター長の水村美穂子氏、特別養護老人ホームあゆみえん介護課課長の佐々木恒太がパネルディスカッションに参加し、介護福祉ジャーナリストの甘利てる代氏がコーディネーターを務め、介護保険制度に関する質問や、会場からの質問にお答え頂き、制度改正の動向や市民が望む介護保険とするには何が必要なのか、どのような取り組みが必要なのかについての議論を深めた。

事業の成果

平成10年に社会福祉法人徳心会として第1回市民フォーラムを開催し、今年で第15回目の実施となる。本年も青梅市、青梅市自治会連合会、青梅市社会福祉協議会、東京都社会福祉協議会の後援を頂き、市内全世帯への回覧板での周知や、ポスター、ビラ等で広く地域の皆様に広報活動を行った結果、169名の市民の方や事業者の方に

お越し頂いた。

本年のフォーラムは第1部に淑徳大学コミュニティ政策学部教授の鏡諭氏により、介護保険制度の仕組みや地域包括ケアシステムの説明などを含め、平成24年4月の介護保険制度の改正の主な論点や、今後の動向についてご講演を頂いた。

第2部では、介護福祉ジャーナリストの甘利てる代氏のコーディネートのもと、第1部に引き続き鏡諭氏、青梅市健康福祉部高齢介護課課長の武藤裕代氏、青梅市地域包括支援センターすえひろセンター長の水村美穂子氏をお迎えし、特別養護老人ホームあゆみえん介護課課長の佐々木恒太の4名のパネリストにて、介護保険制度改正による影響や、今後の地域包括ケアシステムに対する考え方等についてのパネルディスカッションを行った。

また、コーディネーターの甘利氏より、第一部の鏡氏の基調講演内容を振り返りながら、市民の方々にはわかりやすくまとめて下さり、鏡氏の講演内容もより深く理解することができた。

その後の質疑応答では、来場者の方から質問を頂きパネリストの方に返答して頂いた。

今回総来場者数は169名、アンケート回収状況は80名であり地域の方々の介護保険への関心の高さが伺えた。

アンケートを回収した80名のうち、初めての参加者が38名、2回目の参加者が19名、3回目以上の参加者が23名いた。

内容については、参考になったと答えた方が53名、普通と答えた方が18名、参考にならなかったと答えた方が1名、難しかったと答えた方

が 6 名いた。

今年で 15 回目の開催を迎えたが、市民フォーラムを実施することで市民、行政、事業者などが情報交換を行う良い場となった。

■ 成果の広報、公表

社会福祉法人徳心会のホームページにて、市民フォーラムの開催報告の掲載を行う。

集計したアンケート結果については、今回コーディネーター、パネリストを務めていただいた方々に対して送付する。

また、施設内では実施報告書にアンケート結果を添付し各課へ回覧する。

今回、市民フォーラム開催にあたり、青梅市、青梅市自治会連合会、青梅市社会福祉協議会、東京都社会福祉協議会の後援を頂き実施したため、開催の報告とともに、事業の概要、事業の成果についても併せて報告を行う。

■ 今後の展開

参加者のアンケート結果（80 名分）より、市民フォーラムの内容が参考になったとの回答が 53 名で、今年で第 15 回目の市民フォーラムを開催したが、3 回目以上の来場者の数も 23 名いることから、介護保険に関する市民の方々の関心の高さが伺えた。

また、今後も是非同様の機会を設けて頂きたいとのご意見も頂いているため、今回のアンケート内容をもとにフォーラム委員会にて、改善できる内容については改善し、より市民の声を反映させたテーマで今後も継続して実施していきたいと思う。